

北海道経済学会 2018年度大会 【ワークショップ, 総会 (66回), シンポジウム (102回)】

本年度の北海道経済学会大会を下記のとおり開催いたします。今年度のシンポジウムは旭川大学が担当します。当学会は、1951年に設立され、これまで北海道の経済学者・経営学者の研究の研鑽と交流の場として活動を続けてきました。今回は、102回目のシンポジウムとなります。「地場産業のリ・デザイナー旭川圏域での試みー」をテーマに、社会・経済が大きく変化していく中で、衰えつつある地場産業が生き残っていくためにはどのような工夫や変化が求められるのか。旭川の地場産業である家具産業における取組を紹介し、今後の地場産業のあり方について考えていきたいと思ひます。旭川大学地域研究所との共催。(シンポジウムの参加は無料です。事前申込みをお願いします)

1. 日時	平成30年10月13日(土) 10:30~13:05, 14:10~17:00
2. 会場	旭川ときわ市民ホール(旭川市5条通4丁目)
3. ワークショップ	<p>・代表理事の挨拶 町野 和夫(北海道大学大学院経済学研究院 地域経済経営ネットワーク研究センター長)</p> <p>・司会 高木 真吾(北海道大学大学院経済学研究院)</p> <p>「ロボット導入の雇用への影響:北海道への含意」 研究報告者 旭川大学経済学部 木谷 耕平 討論者 北海道大学大学院経済学研究院 高木 真吾</p> <p>11:05~11:35 「旭川地域におけるスキー観光まちづくりの特色と可能性」 研究報告者 北翔大学 菊地 達夫 討論者 旭川大学 浅沼 大樹</p> <p>11:35~12:05 「後悔しやすい私たちー哲学からみたりバタリアン・パターンリズムの意義ー」 研究報告者 釧路公立大学 中村 隆文 討論者 北海道大学大学院経済学研究院 町野 和夫</p> <p>12:05~12:35 「小地域間産業連関表接続の研究ー小樽市ー余市町間の産業連関分析の試みー」 研究報告者 北海道開発局開発監理部開発調査課 清水 敏史 討論者 環日本海経済研究所 南川 高範</p>
4. 総会 12:35~13:05	議案:理事と会員の変更について 予算・決算 来年度事業計画 等
5. シンポジウム 14:10~17:00 *事前申込みをお願いいたします(別紙)	<p>「地場産業のリ・デザイナー旭川圏域での試みー」 14:10~14:15 シンポジウム担当校あいさつ 旭川大学 地域研究所長 松岡 昌則</p> <p>講演 14:15~15:15 「工芸センターの取り組みについて」旭川市工芸センター所長 有馬 有志 「家具職人と森林」当麻町地域おこし協力隊、木育マイスター 原 弘治 「地域資源として見た身近な山と森」里山部代表(自伐型林業者) 清水 省吾 「地域的ものづくりシステムのデザイン」静岡大学人文社会科学部准教授 横田 宏樹</p> <p>休憩(15:15~15:30)</p> <p>パネルディスカッション 15:30~17:00 パネリスト 有馬 有志, 原 弘治, 清水 省吾, 横田 宏樹 司会:浅沼 大樹(旭川大学経済学部准教授)</p>
6. 懇親会 17:30~19:30	会場:実兆(旭川市神楽 ^{かくら} 3条4丁目) 会費:会員 3500円 学生会員1500円 非会員4000円
7. 問合せ	北海道経済学会事務局 〒060-0809 札幌市北区北9条西7丁目 北海道大学大学院経済学研究院 地域経済経営ネットワーク研究センター内 北海道経済学会事務局 塚田 Tel&Fax 011-706-4066 Email sacade@econ.hokudai.ac.jp

北海道経済学会に未加入のみなさま、是非入会をご検討ください。連絡は上記問合せまで。

***シンポジウム, 懇親会申込方法:別紙申込用紙にご記入の上, 申込用紙に記載のメールアドレスか FAX にて送付下さい。(締め切り 10月9日(火)). 午前のワークショップには学会員は参加自由です。**